

原稿の内容や原稿提出にあたっての注意事項

※原稿の書式に関しては「[原稿執筆要領](#)」をご参照下さい。

1. 原稿の内容

原稿の内容について学術的な面からの査読は行いませんが、以下の点について原稿の内容が明らかにそぐわない場合は、原稿の修正や取り下げを求める場合がありますので、ご注意ください。

- (1) 当研究集会は、幅広い分野における最新の研究成果を参加者全員で共有することを目指しています。予備知識を十分には持っていない方も講演集を読まれますので、原稿は、できるだけ簡明に記述してください。
- (2) 原稿のタイトルは、特定の商標名等を使用することはできません。また、原稿の内容は、商業的宣伝に偏ることがないようにしてください。

【商業的宣伝に偏るとみなされる具体的な例】

- ・表題に特定商標名（〇〇工法など）を入れる：一般的な技術を表す名称をご使用下さい。
- ・“国内初” “新規” “初めて”といった表現を用いる：妥当であるか十分にご検討下さい。
- ・文章や図にカタログのような商業的表現を用いる。

- (3) 原稿の内容は、他の学会等で発表済みのものでもかまいませんが、必ず、当研究集会用に再構成して新たに作成してください。著作権等法に触れる可能性もありますので、図表等も、できるだけ新たに作成して下さい。既発表の図表等を使う場合は、引用元を参考文献に適切に記載してください。
- (4) 内部報告書や日報等の体裁で執筆したような原稿は避けてください。また、研究・開発された工法や技術の効用をただ単に紹介することは避けてください。
- (5) 同一著者によって複数の原稿を提出される場合は、たとえ同一著者であっても原稿中に同じ文章あるいは酷似した文章を使用することは控え、引用を適切に行う等によって自己盗用を疑われないようしてください。
- (6) 他の文献等から図表等を利用する場合は、“引用”と“転載”的違いを正しく理解し、“引用”と認められる範囲で利用してください。他の文献に掲載された図表をコピーペーストして使用することは“転載”に該当します。ただし、原稿作成にあたり、ご自身で著作権者から“転載”的許可をいただき、その証明ができるものについては“転載”も可能です。
- (7) 原稿の書式が「原稿執筆要領」に則していない場合は、修正依頼を行うことがあります。修正依頼を受けた場合は、指示された期日までに修正し、再提出してください。適切に対応されなかつた原稿は、不採用とし、一般参加に振り替えさせていただく場合があります。
- (8) 原稿の内容が研究倫理に反する場合や、当研究集会の趣旨にそぐわない場合は、講演集への掲載及び発表をお断りすることができます。研究倫理の詳細については、下記資料をご参照ください。

科学技術振興機構（2024）研究者のみなさまへ～責任ある研究活動を目指して～,
https://www.jst.go.jp/researchintegrity/shiryo/pamph_for_researcher.pdf

- (9) 原稿の内容は、執筆者のみならず全共著者が責任を負うことになりますので、原稿提出前に、全共著者による内容の確認ならびに提出の承諾を受けておいてください。なお、原稿の内容によって生じたトラブル等は全て著者責任となりますので、投稿前によく確認をしてください。

2. 提出物の種類及び内容

第31回研究集会に向けての事前提出物は、PDF形式で講演集に収録される「講演集用原稿」および原稿の内容確認のための「チェックシート」の2点です。

2.1 講演集用原稿

- (1) A4判（白色、縦置き）にて、「**原稿執筆要領**」に従った書式で作成してください。
- (2) 原稿執筆要領に従った書式を「**原稿書式の雛形**」（Word形式）に示します。必ず、雛形ファイルをダウンロードして、上書きして原稿を作成して下さい。
- (3) 枚数：**2～6ページ厳守**（PDF変換後の容量は1.5MB以内）
- (4) 作成したWord形式の原稿をPDF形式に変換し、ファイル名を、**参加受付番号（A+数字5桁）+発表者名**として保存して下さい。

【例】参加受付番号がA00001で、発表者が地下水花子の場合： A00001 地下水花子.pdf

- (5) 作成したPDFファイルを研究集会ホームページのリンク先からアップロードして下さい。

2.2 チェックシート

- (1) 「**チェックシートのWordファイル**」をダウンロード（パソコンに保存）して、「**第31回研究集会原稿 チェックシート**」と記載されていることを確認して下さい。
- (2) それぞれのチェック項目を確認（チェック欄に入力）して下さい。
- (3) 記入した発表題目が、原稿の題名と一致していることを確認して下さい。
- (4) 執筆者と執筆者の所属を記入して下さい（この欄の情報がプログラムに掲載されます）。**執筆者数は10名以内**とし、執筆者の順番が原稿と一致していることを確認して下さい。執筆者名を英語とする場合は、フルスペル（Family name, First nameの順で記してください）で記載ください。口頭発表者の前に○を付け、所属は可能な限り簡潔短い名称として下さい（所属は大学名のみ、企業名のみなどとし、株式会社、（株）、一般社団法人、（一社）等は記入しないで下さい）。海外の企業についても同様にInc.、有限公司等は削除をお願いします。なお、このチェックシートでは執筆者の所属機関の記載は各1機関のみとして下さい。原稿については、複数の機関を記載いたしません。

【記載例】

地盤太郎・○地下水花子（土壤環境センター）・水環境次郎（水環境大学）・廃棄物一郎（□□エンジ*）・地圈岩男（産総研**）

備考：*エンジニアリングでもかまいません。**産業技術総合研究所でもかまいません。

- (5) ファイル名を、**参加受付番号の数字部分5桁+発表者名**として保存して下さい。

【例】参加受付番号がA00001で、発表者が地下水花子の場合： 00001 地下水花子.docx

- (6) 保存したチェックシートを研究集会ホームページのリンク先からアップロードして下さい。

3. 原稿の提出について

3.1 提出方法

第31回研究集会ホームページ（<https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/kenkyu31>）のリンク先から原稿及びチェックシートをアップロードしてご提出下さい。

3.2 提出部数

- (1) 講演集用原稿：PDFファイル 1ファイル
- (2) チェックシート：Wordファイル 1ファイル

3.3 アップロードおよび提出期限

2026年2月19日（木）23:45 厳守

締切日時は厳守願います。システム上、期限後の提出は不可能ですので、ご注意下さい。

提出期限延長等の相談はお断りさせていただきます。

締切日時までに原稿が提出されない場合、発表登録は一般参加に振り替えさせていただきます。

4. 提出原稿の著作権について

本研究集会の講演集に掲載された原稿の著作権は、執筆者本人に帰属します。

5. 口頭発表原稿について

目的：口頭発表時（3分程度、変更有）に、書画カメラを使用してスクリーンに投影する。

形式：普通紙A4サイズ横向き、3枚程度、フォント24pt以上で作成して下さい。

なお、当日の照明の反射などによって文字が読みづらくなる場合があります。

準備には最善を尽くしますが、ある程度はご許容願います。特に、

ページ上部に書画カメラの照明が反射しやすい領域（右図斜線部）

がありますので、この領域はカラーでのべた塗りを避けておくことをお勧めします。



提出期限：当日、発表者がプリントアウトして持参下さい（事前提出不要）。

6. ポスターについて

目的：個別討議用にポスター会場に掲示する。

サイズ：サイズ幅0.85m、高さ1.8mの掲示スペースに収まるもの（1枚でも複数枚でも可）。

形式：発表者の自由（**注意**：商品カタログ等の掲示は固くお断りいたします。）

提出期限：当日、発表者がご持参下さい。

（※事前に会場及び事務局宛て等で送付しないで下さい）

注）ポスター内容が本研究集会の趣旨にそぐわないと幹事会で判断した場合は、発表をお断りし、ポスターを撤去いただくことをご了承下さい。

お問合せ先

一般社団法人 土壌環境センター 研究集会事務局
担当：木下、登内（kenkyu100@gepc.or.jp）
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5 KSビル3階
TEL：03-5215-5955 FAX：03-5215-5954